

校舎配置検討案 B

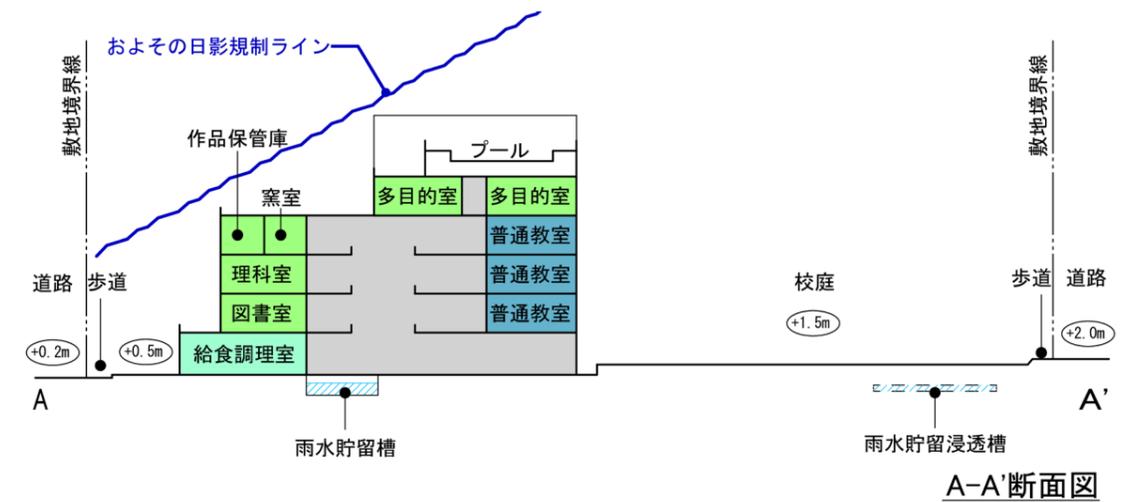


1階平面図兼配置図
S= 1/600

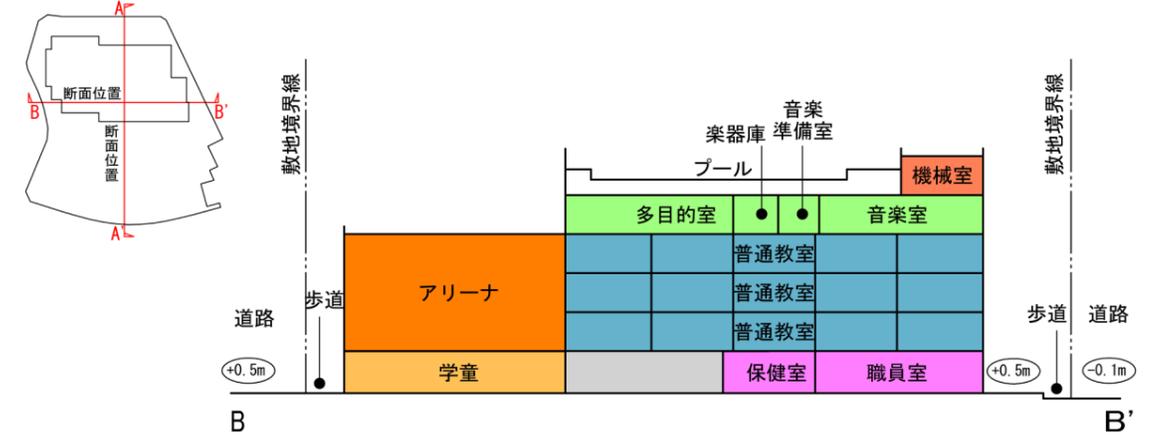
教室	給食	学校開放	歩道
特別教室	管理	学童	
体育	便所	廊下・階段	

※本図面は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

基本設計まとめ

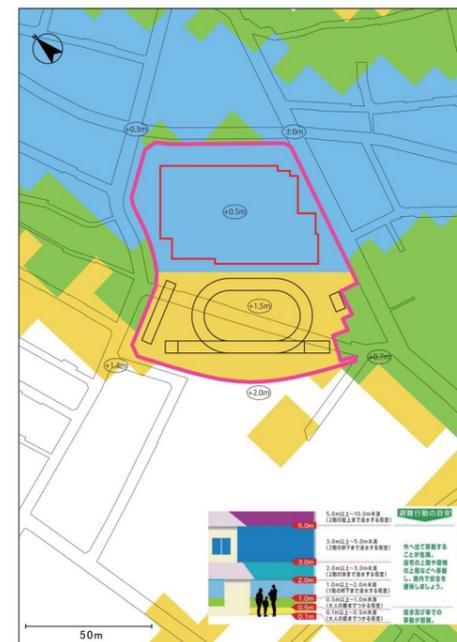


A-A'断面図

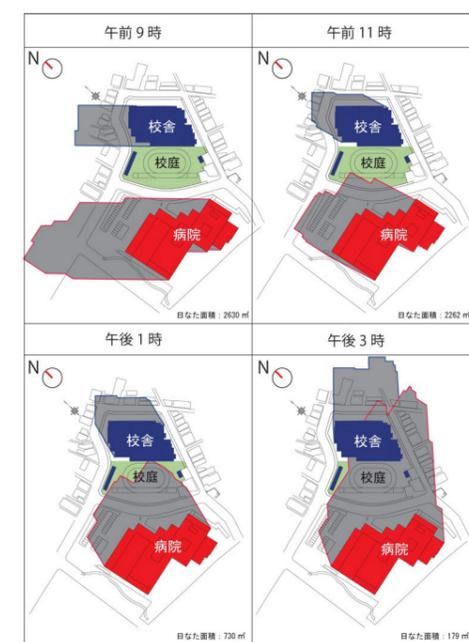


B-B'断面図

水害ハザードマップ重ね図



冬至日による日影比較図

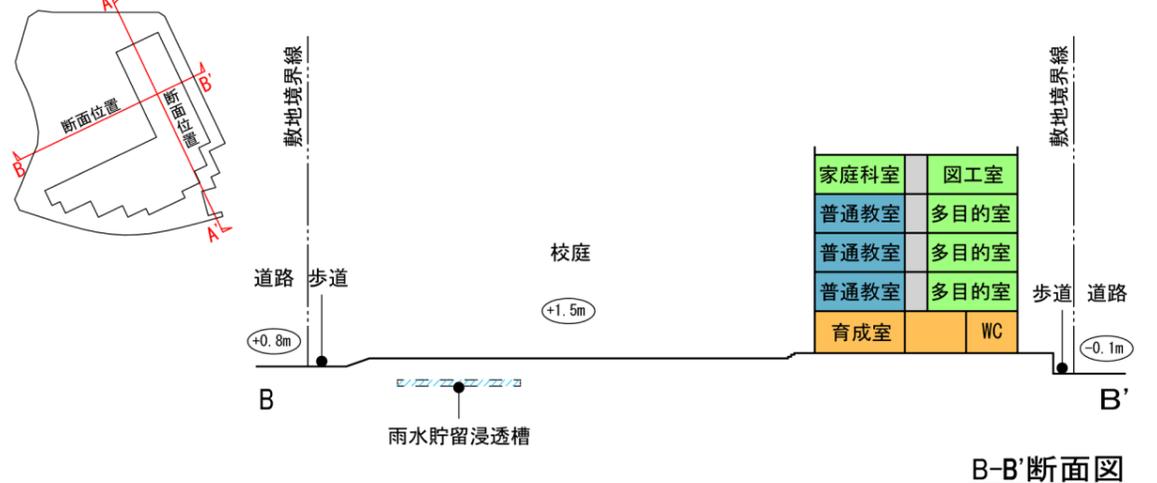
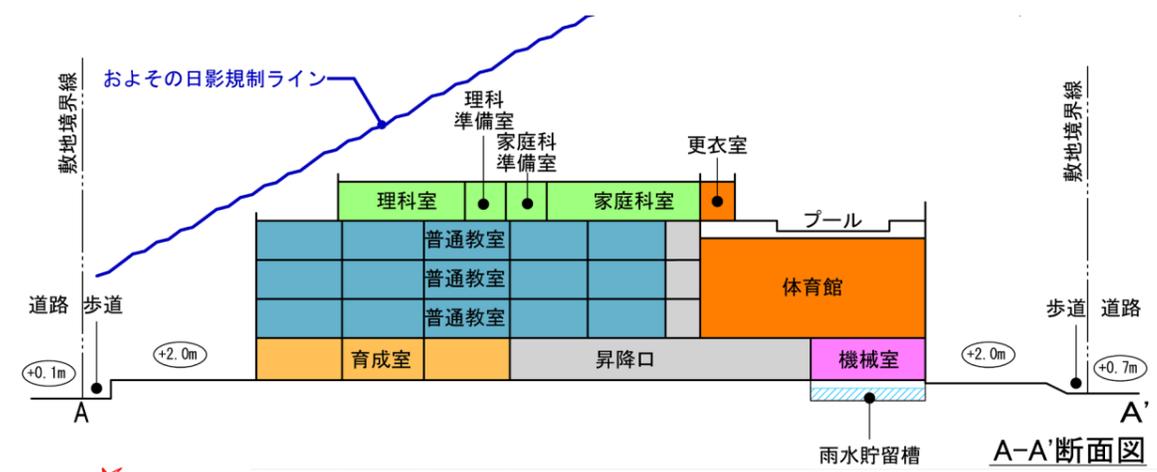


校舎配置検討案 D

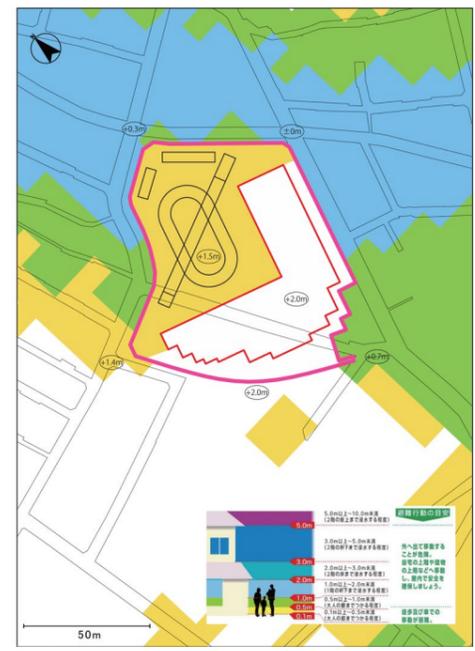


1階平面図兼配置図
S= 1/600

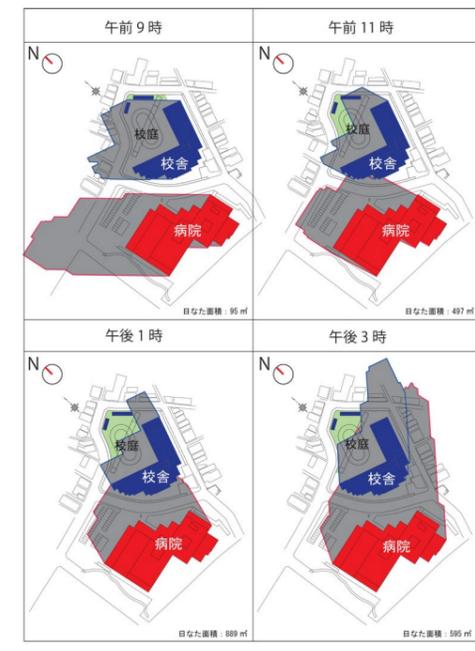
教室	給食	学校開放	歩道
特別教室	管理	学童	
体育	便所	廊下・階段	



水害ハザードマップ重ね図



冬至日による日影比較図



14 学校校庭の人工芝整備

学校校庭については、安全性が高く、砂塵や土埃の抑止に優れた人工芝を導入します。

(1) 土系舗装

適度に硬く、屋外競技全般に向くほか、釘打ちや火の使用等、運動用途以外の自由度が高い。表層管理を怠ると雑草発生、表層の剥がれや硬化、降雨後の軟弱化がおり、運用に支障があり、校内、近隣への砂塵及び土埃の被害が発生しやすい。

【土系舗装の砂塵事例】



(2) 23区小学校の運動場舗装状況

	令和6年度	令和3年度
クレイ舗装 ※黒土・真砂土・荒木田等の土系舗装を含む	39校	37校
ダスト舗装 ※土にグリーンダスト・石灰岩ダスト等混合	431校	453校
オールウェザー ※ゴムチップ・ウレタン舗装	147校	147校
天然芝	36校	38校
人工芝	154校	140校
23区合計	807校	815校

※「東京都における小中学校施設の現状」より

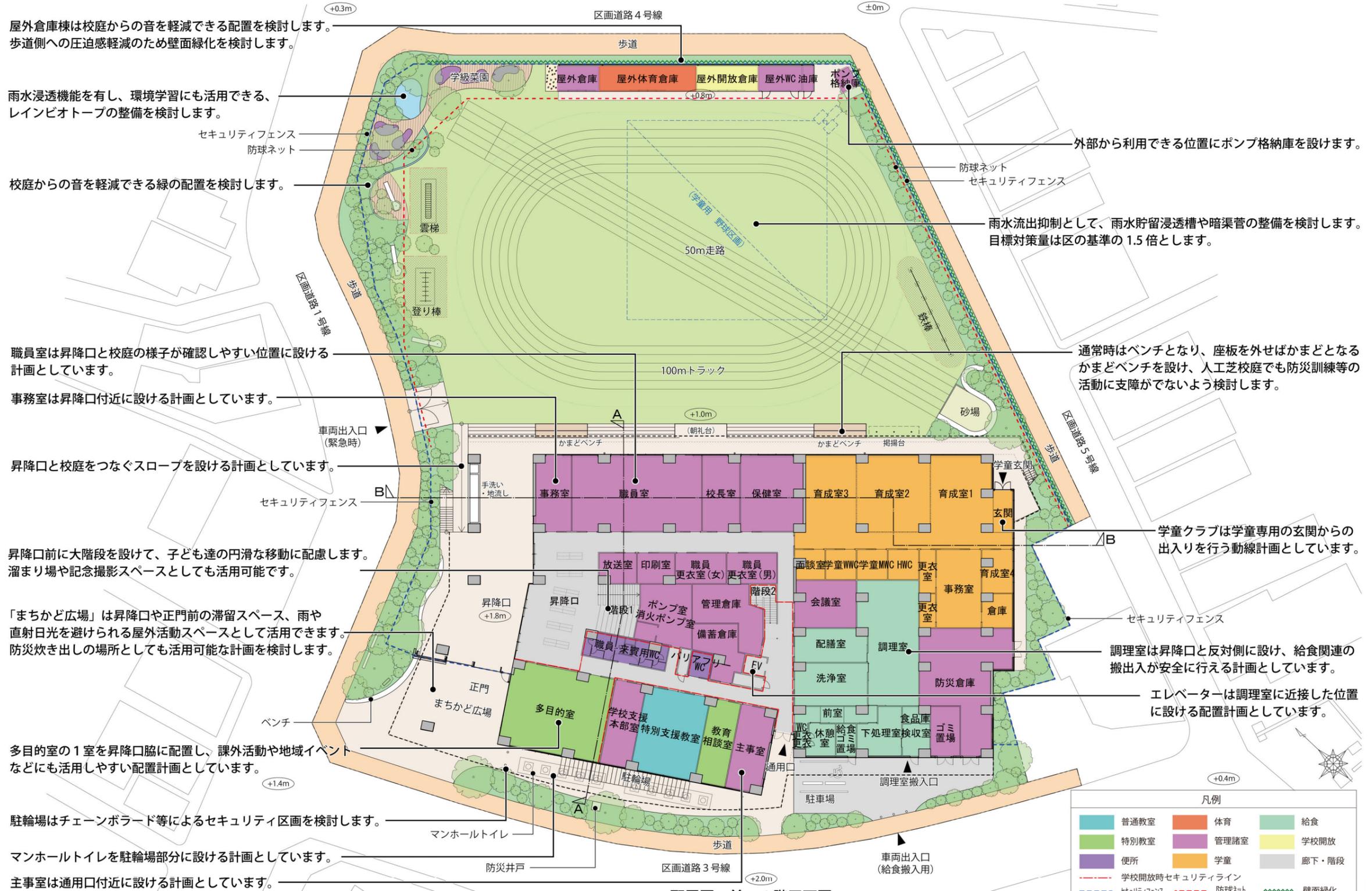
(3) 土系舗装と人工芝の特徴比較

項目	クレイ舗装・ダスト舗装	人工芝
	※透水・防塵タイプ	※ノンフィルタイプ
防塵性	△ 防塵タイプでも人工芝より土埃はたつ	○ 土埃はたたない
排水性・透水性	△ ほぼ浸透しないため排水中心	○ 浸透+排水
降雨後の回復性	△ 排水後も乾燥するまで利用できない	○ 排水後は早期に利用可能
耐雑草	△	○
ボール・靴等の汚れ	△ 土が付着する	○ 付着するものがない
安全性	△ 人工芝より地盤面が硬い	○ やわらかい
授業内容への適合性	○	○
授業外利用の自由度	◎ 火気使用や重量物設置が可能	△ 火気使用や重量物設置の際は養生が必要
維持管理コスト	△	△
当初整備コスト	◎ 1	△ クレイ舗装を1とした場合2~5
総合評価	○	◎

(4) 整備時の留意点

- ① マイクロプラスチック防止のため充填材は使用しない。また、千切れたパイルが下水に流れないように、排水口に集塵器を設け、外構要所に飛散防止ネット等の整備を検討。
- ② 芝（パイル）の千切れを抑えられるよう、肉厚の超高耐久ポリエチレン製品を検討。
- ③ 静電気対策で、校庭にアース機能のある手摺等を、暑さ対策はスプリンクラーを検討。
- ④ 運用に必要なラインのペイント。また、人工芝素材を傷めないラインマーカー導入を検討。

15 諸室配置(案) 1階及び校庭



※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

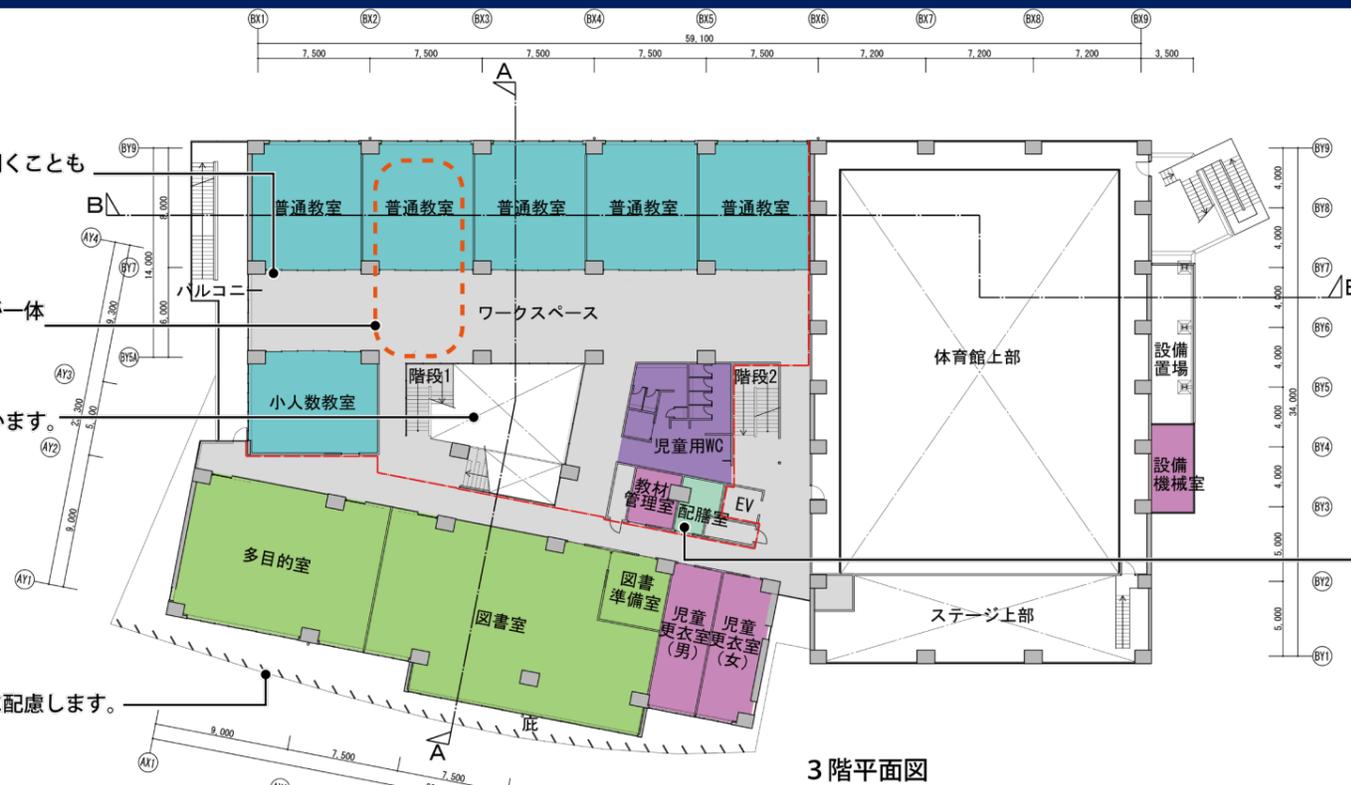
2階 及び 3階

普通教室とワークスペースの間は、閉じることも開くこともできる間仕切りを計画しています。

間仕切りを開くことで、普通教室とワークスペースが一体的に利用可能な計画としています。

吹抜けにより建物奥まで自然光や風が届き、他学年の活動の様子も伝わりやすいつくりとしています。

庇やルーバーにより日射を遮蔽し、省エネルギーに配慮します。



各階の配膳室はエレベーター付近に計画しています。

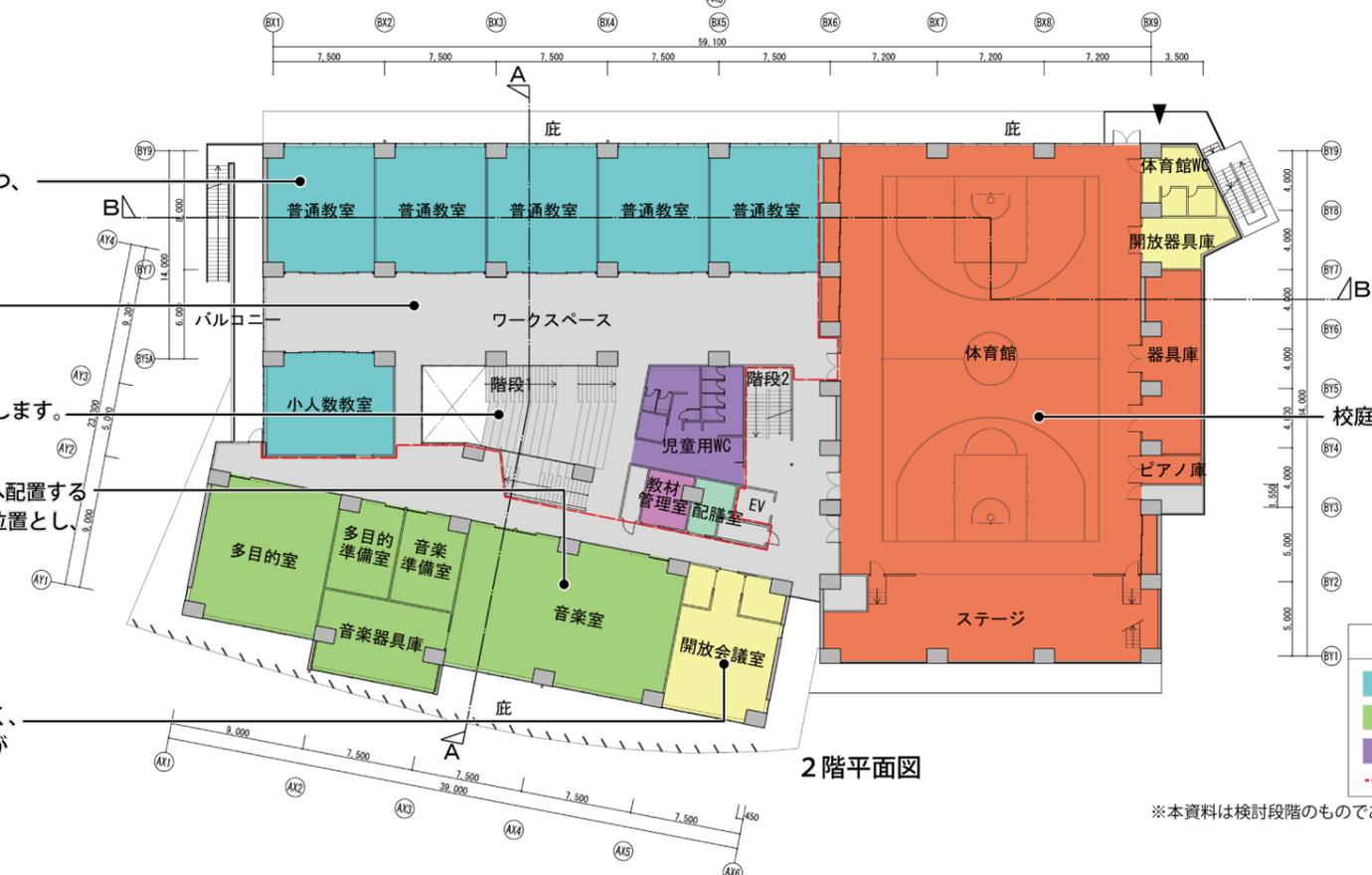
普通教室は2～4階の校庭側に、各階に5学級ずつ、全部で15学級分を設けます。

各階の普通教室前にワークスペースを設けます。

大階段により円滑に1階へ移動できる計画を検討します。

音楽室は楽器の運搬に配慮し、体育館と同じ2階へ配置する計画としています。近隣住宅への騒音に配慮した位置とし、サッシの防音性能にも配慮します。

開放会議室は2階に設け、常時は学校開放しやすく、非常時は震災救援所として体育館と連携した活用が可能な計画としています。

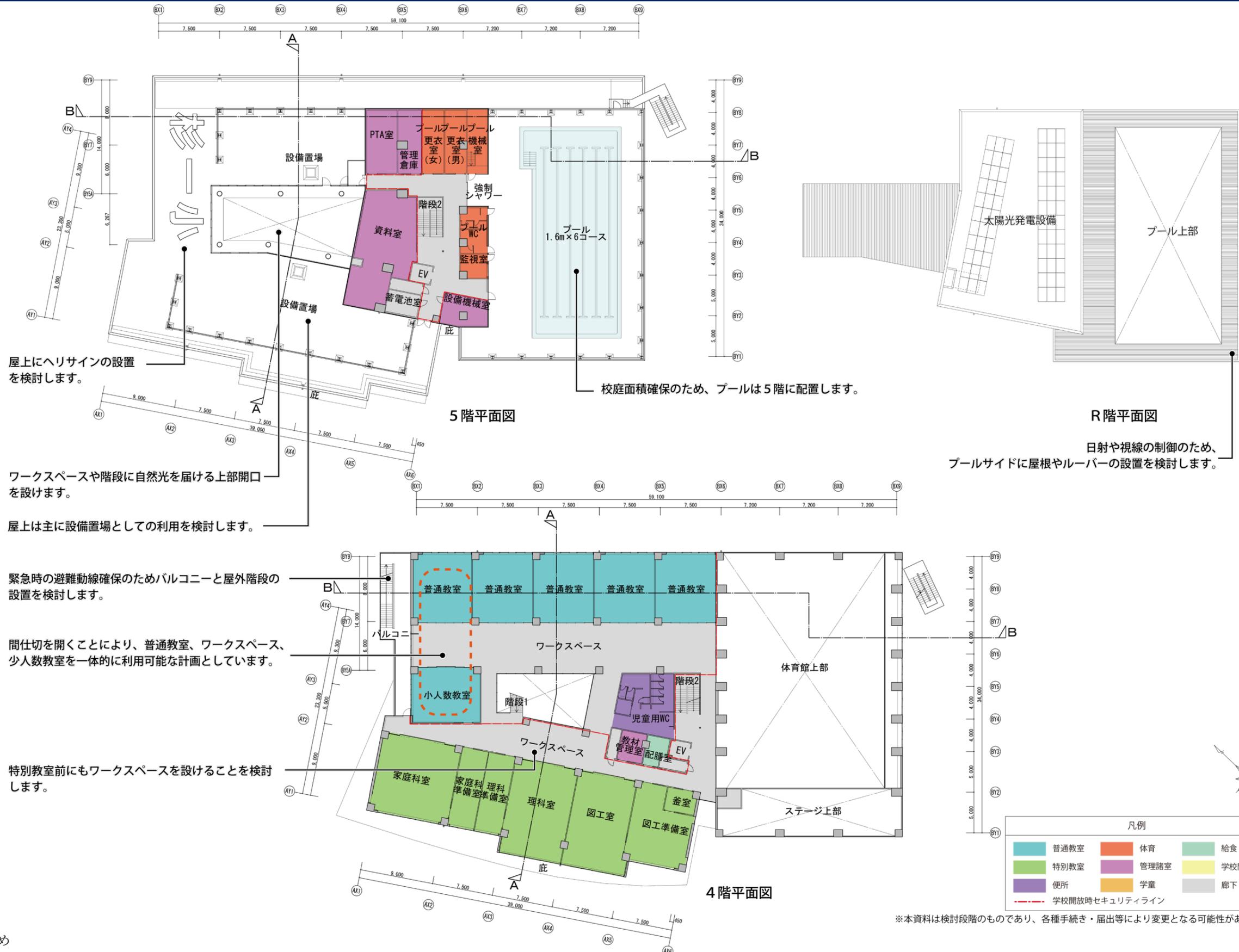


校庭面積確保のため、体育館は2階に配置しています。



※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

4階 及び 5階 (屋上)



屋上にヘリサインの設置を検討します。

校庭面積確保のため、プールは5階に配置します。

ワークスペースや階段に自然光を届ける上部開口を設けます。

日射や視線の制御のため、プールサイドに屋根やルーバーの設置を検討します。

屋上は主に設備置場としての利用を検討します。

緊急時の避難動線確保のためバルコニーと屋外階段の設置を検討します。

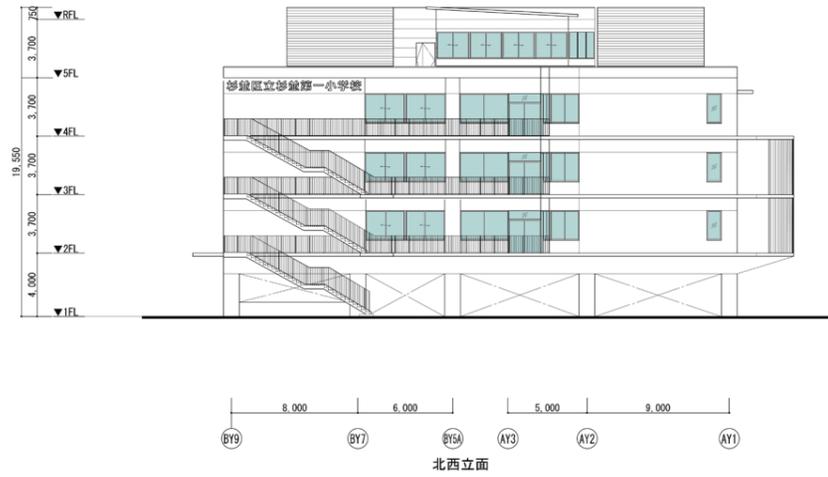
間仕切を開くことにより、普通教室、ワークスペース、少人数教室を一体的に利用可能な計画としています。

特別教室前にもワークスペースを設けることを検討します。

※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

16 立面・断面図

立面図

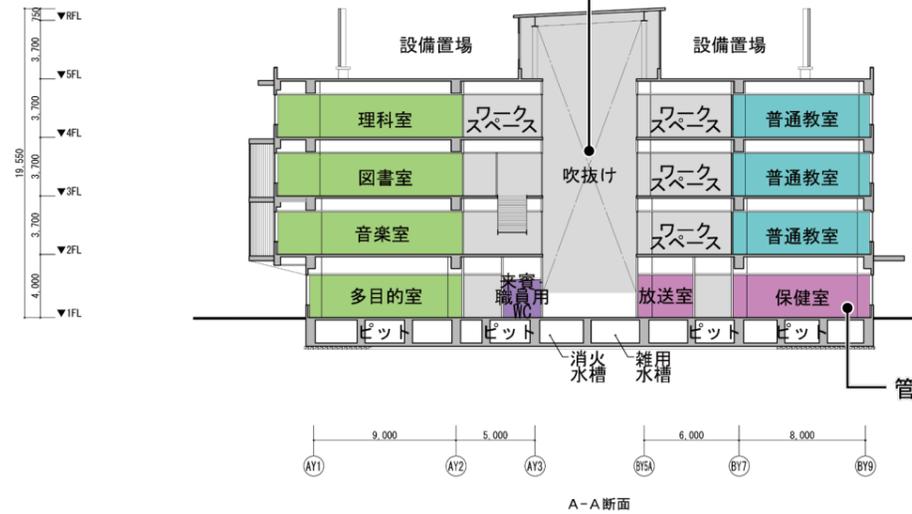


庇やルーバーにより日射を遮蔽し、省エネルギーに配慮します。



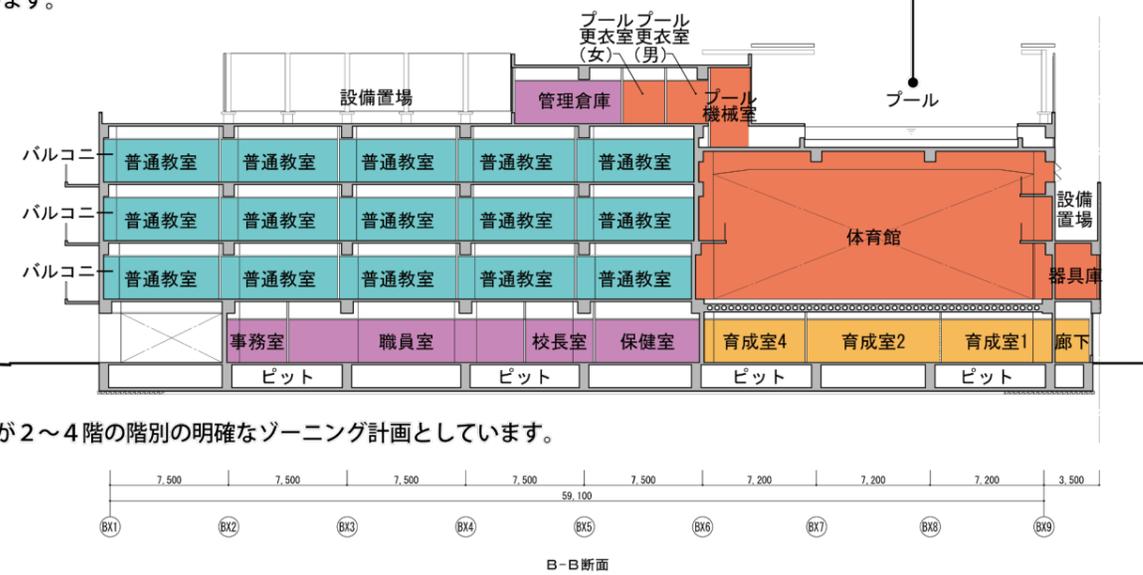
昇降口と正門前の屋外活動スペースとして「まちかど広場」を設け、学校の正面となる顔をつくる計画としています。

断面図



吹抜けにより建物奥まで自然光や風が届き、他学年の活動の様子も伝わりやすいつくりとしています。

プールを体育館上部へ配置することにより、体育館天井高さを確保しながら、5階レベルで段差なくプールサイドへ繋がる断面構成としています。



管理諸室が1階、普通教室が2～4階の階別の明確なゾーニング計画としています。

凡例		
普通教室	体育	給食
特別教室	管理諸室	学校開放
便所	学童	廊下・階段

※本資料は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

17 昇降口から大階段を見る内観イメージ

吹抜を利用した展示
(大凧、はりぼてなど)

上部ハイサイドライトにより
自然光が降り注ぐ吹抜空間

ワークスペースの活動が顔を出す開口

昇降口の目の前にある分かりやすく
移動しやすい大階段

主要な動線や児童の溜まり場に面した
展示コーナー

座っておしゃべりしたり、集会や
記念撮影にも利用可能な階段状ベンチ

